

**平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)
1対1対談(度会町) 会議録**

1. 開催日時

平成25年6月21日(金) 13時30分～14時30分

2. 開催場所

度会町役場 2階 大会議室 (度会町棚橋 1215-1)
現地視察 南伊勢大橋付近

3. 対談市長名

度会町(度会町長 中村 順一)

4. 対談項目

- 1 道の駅構想について 現地視察項目
- 2 現行の防災行政無線(アナログ方式)の拡充に対する助成について

5. 会議録

(1) 開会あいさつ

知 事

本日は、大変お忙しい中に中村町長をはじめ、度会町の皆さん、本当にお時間をいただきましてありがとうございます。

3年目を迎えました1対1対談も、今日からスタートということでありまして、初日に度会町におじゃまさせていただいた次第です。

早々に新しくできたゆるきやら「ティーナちゃん」のお出迎えをしていただきまして、今、本当にゆるきやら全国的に大変はやっていますので、ぜひ、このティーナちゃんを活かして度会町のピーアールを頑張っていただきたいと思いますし、我々もいろいろサポートできたらと思っています。

この1対1対談は、主に26年度、25年度も始まったばかりですが、来年度の予算編成に向けて、その前に町長さんや市長さんのお話をお伺いして、しっかり進めていこうということで、去年となると例えば全体でいきますと、河川の堆積土砂の撤去の予算を大幅に取らせていただいたりとか、全体的な共通項目もあれば、それぞれの町や市ごとの施策を反映してきたものもあります。

そういうことで、すべてできるかどうかわかりませんが、いずれにしても一歩でも二歩でも前進し、町民の皆さん、県民の皆さんが喜んでいただけるような有意義な時間にしたいと思っていますので、どうぞよろしく願います。

本日は、どうもありがとうございます。

度会町長

皆さん、こんにちは。

今日はお忙しいところ、この度会町を越えて、滅多になかなか足を運んでいただけないお忙しい身でございますが、今日はこうして来ていただきまして、本当にうれしく思っております。

また、県の関係者の皆さん方、そして、報道陣の方々、大変ご苦勞様でございます。今日は忌憚のない意見ということでございますが、限られた時間で度会町としましても、ふだんから先ほど見ていただきましたが、サニーロードの町道の右折レーンをお世話になりまして、非常に便利な、住民にも他の方にも喜ばれておりますので、いろいろとそういった面で県の方々にはご配慮を、またご指導をいただいておりますことを心から感謝を申し上げて、この会談に臨みたいと思っておりますので、限られた時間ではございますが、よろしく願いをしたいと思っております。

(2) 対 談

1 道の駅構想について

度会町長

知事、まず「百聞は一見に如かず」ということで、今日は見ていただきました。

今、用意しましたパワーポイントですが、もしざざ降りのときとか、台風の影響でだめな場合は、これで私が説明するんですが、いかんせんパワーポイントが苦手な町長で、上手にいくかわかりませんが、なるべく短くと係にも言われてますので、詳しくは道の駅の私が書いた文書でさせていただきますが、まず、先ほど見ていただいたのを頭で描いていただいて、雑ぱくですが説明をさせていただきます。

まず、最初のところですが、ご存知のように、このように明和町から南伊勢町まで延びているずっと点線から来てますが、この中での地域の交流、活性化を考えまして、度会町だけではなしに、南伊勢大橋がちょうど下のほうにございますが、位置的に南伊勢大橋の手前ぐらいで道の駅をという構想が出てまいりました。これが、まずその橋を示した位置図です。

これを拡大しましたのが、上から見ていただくと朱色で書いてありますが、ちょうど台形のような形をしています。長方形、正方形、きちっとしたほうがいいのではないかとおっしゃると思いますが、地元の地権者の皆さん方にとっては、こういったところのほうがご協力をいただけて、どちらにしても

冠水で盛り土をしなければいけないところでございまして、それになったら上のほうが平地になって更地になれば、ここのほうが交渉をさせていただくことも理解も得られるのではないかというのも一点でここを選んでおります。

これで見てくださいまして、1、2、3、4と書いてありますが、上から見ていただきましたが、こちらの3の部分ですが、ちょうど今通っていただきましたが、我々の宮リバー度会パーク、これは度会町の表玄関でして、先鞭の努力でまちづくりの一環で造らせていただいた公園でございまして。

私になって平成19年からもう一度、再整備をやるということ、今の状態で満足せずにということで、24年ぐらいを一区切りに再整備を入れまして、その内容としましては、宮リバー度会パークをもっと集客力がつくように。遊水プール・鏡は40日間で2万人を集めますが、これだけではいかんだろうと。やはり今のバザールわたらいと宮リバー度会パークを線の流れにせないかんということで、集客力を中心に考えて、第2チビッコ広場を造り、貸農園の位置が非常に場所的にもったいところでしたので、一番東側に移しまして、そういったことで、第2チビッコ広場を造った中で、利用客の調査を昨年行いましたが、3人に2人ぐらい、ほとんど町外の方、県内の方となっております、地元1に町外2というのはいいいバランスかと。

ただ、トイレをさせてください、ゴミをほっていきますと、これだけでは度会町は何もないので、財布のひもとめていただきたいというのでは、今のバザールわたらいも頑張っておりますが、これ以上のことをやるほうがいいのではないかとということで、ふれあいトークの中でこういった構想が出てまいりました。

では、線の流れで宮リバー度会パークとここをつないで、伊勢神宮へ行かれる方、伊勢志摩、鳥羽へ行かれる方も、日帰り観光はぜひともうちに行き帰り共に3時間でも寄っていただきたいということで、日帰り観光スポットも充実させるということとずっと来ておりまして、ここの場所を設定したということとございまして。

これは各論でしたが、知事に立っていただいた電柱のところの場所ですが、車を停めて。ちょうど北から交差点を眺めたところですが、この一帯地域へ、これが低いので冠水が平成23年にございまして、水害でうちも例外なく浸かりまして、ちょうど見えている白い点字ブロックの上のほうの南伊勢大橋の欄干のところは浸からなかったということで、こちらの右側のほうから順次にレベルが低くなるんですが、こちらのほうが水がオーバーフローしたということで、あれをもうちょっとあげて盛り土をすれば、なんとか城のような形になって、かえっていいんじゃないかというイメージを考えた場合、そうということでこの選定の一つになりました。

それから、北側のサニーロード側の中心街から撮った写真ですが、ここも浸かります。この看板がございます「宮リバー右」と書いてありますが、車がおるところがちょうど知事さんに立っていただいたところですが、この道を見ていただくと、向こうの右折レーンをしていただいて、町内外を問わず便利になったという声を聞いてうれしく思っております。

今度、今の右側へ回る道の進入路を上へ上げてドライブ構想しますと、大型を入りたいということで大きな町道の道路改良が必要と。それに合わせてコンパス行政といいますか、こちらの右側のほうも一車では向こうで詰まるのではないかということで、こちらもできたら、この側道をうまく利用して、用地買収もそんなにいかずにうまく使えば、最小限の経費でなんとか県の方々にご支援をいただければ、右折レーンのダブルということで。

この右折レーンを2つもつくったらいかんという思いがあると思いますが、伊勢市内を通っていただきますと、宮町、尼辻、新道、すべて信号が付きながら交差点がたくさんあるやないかと。あれが渋滞かどうかといったら、緩和のほうは政策としては進んでいると思いますので、そういう効力から度会町もこの右折レーンと、もう一つ向こうから合わせて宮リバー度会パークへ行く、伊勢市のほうへ出て行く右折レーンをなんとかお願いができればと。これはお願いできればということでございます。

水路がございますが、大事な水路もございますので、この水路は、知事が立っていただいたところから南伊勢大橋側にあって、水路がずっと行っておりますが、あの水路は、私も分からなかったんですが、あそこで下流に落ちるか、左側に落ちていくようになっているかと思いましたが、あれがぐっと回って、もう一回北側に流れてきまして、東谷川に落ちて回していくという大事な水路ですので、これは地元の方々と水利組合を通じてコースを変えてやっていきたいという思いで、内部協議でいきたいと思っています。

ここが、今右折レーンをしていただいた南伊勢大橋側から見たところですが、左側の部分のところを、できたら向こうから入っていただいて、こちらへ出る方もみえるので、円座の方面、南伊勢方面へ行かれる方が右折レーンは設けたほうがいいのかということで。用地買収は同時に行いますので、調整池とかいう開発行為の規制の中で枠の範囲内でもしつくっていただければ、うちも一所懸命で頑張ってなんとかしていきたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

今、この交差点から5mぐらい上げるという構想でおりますが、必要であれば想定外もあるので、もうちょっとプラスアルファをいきたいと思っています。ぜひとも、この盛り土につきましてはお金がかかりますので、なんとか県の事業で私としては30kmから40kmのうちから土が要らないと言ってい

ただいたら、整合性があれば助けただければと思っております。非常にコストがかかりますので、これを助けただくとありがたいと思います。各論はまたよろしくお願ひしたいと思ひます。

知 事

まず、場所を拝見させていただいて、今回の南部地域活性化基金を使った事業でも、度会町さんと玉城町さんと南伊勢町さんが、サニーロードを活用して3町で誘客を図っていこうという事業を組み立てていただきました。そういう意味でまさにサニーロードは、南部地域活性化の観点で広域の周遊をお客さんにしてもらおうという意味で大変重要な道路ですので、このサニーロード沿いにまた一つの誘客ポイントをつくっていただくのは、南部地域全体の活性化につながっていくんじゃないかということで、場所としては、先ほど町長に現場でお聞きしたら、地権者の皆さんもご協力をいただけるとお聞きしましたので、そういう地権者の皆さんのご理解を得られるということであれば、そこにああいう形でできるのは、南部地域の活性化という意味でも非常にいい場所かという感想を持たせていただきました。

そんな中でいくつか町長から実際に開発して進めていく中のお話がありましたが、いろんな開発行為の手続きとか、右折レーンのこととか、いくつか個別に具体的に詰めていかないといけないところもありますので、既に何度か町長も入っていただいたりして、うちの県土整備部や地元の伊勢建設事務所とお話をさせていただいているようですが、引き続きご相談していただいて、なるべく前向きな形でいろんなご支援をさせていただければと思ひています。

右折レーンは、地域の皆様にも喜んでいただいているのは大変うれしいことですが、その改修整備をやったばかりというのもありますので、その辺をどうするかというのは、これからよく詰めていかないといけないことかと思ひていますし、あとは国のいろんな交付金なんか活用しながら、財政的な面はうまくやれればと思ひています。

あと、中身の食べ物のこととかそういうあたりはどうでしょうか。

度会町長

構想計画を県のほうからもなるべく早く立てるようにと、そうでないと見えないということで、水面下でできることを今までやってきましたが、飲食関係、私の描いている構想の中では、まず、国の道の駅の機能の役割を果たすことが基本ですが、今までの道の駅というよりも、これから10年を見据えた道の駅をやっていないと、なかなか生き残るのは難しいかと思ひています。

特にうちのご存知のように依存財源が強いところで、住民の皆さんのお金

を相当使う事業になると思いますので、ビッグプロジェクト、そう簡単にいくとは思っておりませんが、やはり県の絶大な支援と国の交付金の形、それから、農林水産関係の相当事業でも、とにかく要件があればその要件がそのような努力をしたいと思いますので、やっていきたいと。

食べ物については、地元の食材、それから、うちの場合は農林産物だけではなかなかいかないということと、南部地域活性化の知事の想いが伝わっていますが、今回、この主要調査を誘客促進事業の中で、うちの基本構想を入れていただいたのは非常に大きいと思いますので、そういった中では南伊勢町さん、玉城町さんとの3町で広域的なことも考えていきたいと思います。

ただ、度会町が単独でやる事業でいかないと、お互いに温度差がありますので、進み具合も違うということで、やはり核となるのは自分のところですが、今も県の方が動いていただいているので大変ありがたいと思います。

青空市をやるということは非常にいいことですし、うちも場所提供で秋ぐらいという話が出ておりますが、これの予算もいただいておりますので、3町とはお互いに切っても切れない仲ですので、首長又は幹事レベルでいろいろと相談しながら、食の素材と安全・安心といいますか、うちの場合は中山間地の農業で零細で3反から5反の百姓が多いので、非常に担い手不足の中で、自分はこういうものやったら与えられたら作るという、あなた任せではないですが、そういう方が非常に多いです、我々の時代の団塊の世代が、これから5年10年と来ますと、まだ元気な人もたくさんみえますので、そういったことをうまくリレーで年代、50歳の人が60歳になる、60歳の人があるので、出店の場というのは度会にはなかったんですが、そういった場をこの拠点に求めたいということで。

それから、飲食の関係も核になるところがほしいということで、私個人の想いですが、もちろんうちの関係団体の皆さんのお声もこれからお聞きしていきますが、基本的にはセクター方式をとらないという形で。指定管理もいろいろ問題がありますが、指定管理の中で生き残っていく黒字化をめざすという形で、そして、地域の役割も度会町だけではなくして、広くの中で役割が果たせる広域化、これで進めていきたいと思います。

食は安全・安心がもちろん顔が見えるものを少なくとも出せば、相当いけるのではないかと。サニーロードというのは、輝く日を受けた農産物を運搬する道路ということを県の資料で読ませていただき、なるほど理念からするとそういうことになれば、日本一の宮川のところで小さい産地で採って顔が見える人がやったら、よそから輸入産物が来てもTPPがあっても、私は高くても買おうという人がこれからも増えてくるのではないかと、先を見越したような感じでいきたいという思いを持っています。

飲食店を中心にやらないと、ほかの道の駅も担当課から調べに行って参考に助言もいただいておりますが、そういったことのご意見もいただいた中では、農林産物というのが非常に金額が上がりにくいということを聞いてますので、地元の地産・地消の中でまず出品ができて売れるんだと、自分らの、その張り合いを持てることに最前線で進めていくので、農家はもうかる農業にせいというのは、県も国も言うておられますが、私は農家出身ですので、そんなに農業はもうかるものでもないんです。だから、音頭は取っていただいて結構ですが、中身を濃くするようなことを一步一步中山間地としてはやっていかないかと思っておりますので、そういった構想でいきたいと。これは私の想いですので、まだまだほかの有識者の方の意見もこれからプロの特に商業ベースのことも必要ですので、これをこれからも県とも相談させていただき進めていきたいと思っております。

知 事

もちろん県もしっかり応援させていただきますが、財政的な面で国の交付金で農林水産省の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金というのが活用できるんじゃないかと思ってまして、これは地域間交流拠点として農林水産物の加工施設とか、販売、貯蔵、食材提供などをできる施設の整備に使う交付金であるのと、併せてハード整備だけじゃなくて、地域産品のマーケティング活動とか、あるいは必要な企画、調整、調査というソフト事業にも使える交付金らしいので、これを活用するせんということであれば、その計画づくりとかそういう面において、我々も一緒に考えてサポートさせていただければと思っております。

それから、せっかくなのでこういう中で県産材を活用した公共施設の木造、木質化を進めていただくケースであるなら、来年4月から導入される「みえ森と緑の県民税」の市町の交付金の対象にそういうのが含まれていますので、そういうもので使っていただくのも一案かと思っております。

いずれにしても、今、町長の熱い想いをお伺いしましたので、それで我々ができるサポートは、引き続きご相談いただければと思っておりますし、また、町長もおっしゃってたようないろんな有識者の人とか町民の皆さんのご意見も聞いて、またいろいろ膨らんでいくでしょうから、我々も楽しみにしておりますので、よろしく申し上げます。

度会町長

知事の言われる南部地域活性化基金を利用するというのも、計画策定の段階で言っていただいておりますが、我々としては、この財政は脆弱

化の財政ですので、住民の皆さんの理解を得るのは賛否両論はあろうかと思
います。ある程度のリスクが伴います。

そんな中で、今、知事から言われた制度ですね、私が一番不安だったのは、
国の交付金がある、県の何々があるというのはよく分かっていますが、雑ば
くでつかみながらいくと、全く分かりにくくなると。最後になったら自主財
源でいいではないかといっても、そんな余裕もないので、なるべくうちとし
てはコストを落としながらやっていきたいと、造成面でも農林業の施設でも。

特に箱物は収益を生まないとずっと自分は自覚しているので、工夫をしな
がらなるべく抑えて、中のもので勝負するようにしたほうがいいかというこ
とがございます。

私の熱い想いと言っていたいただきましたが、知事のほうが南部活性化にはも
っと熱いと思いますので、そういう面では具体化に地方道へしていただくき
っかけを県のほうが出ていただいたというのは、私はこれは非常に高く評価
しているんです。誘客産業をあそこの道を行っていただくと。道の駅とい
うと、国道を中心に考えたというか、国の方がアドバイスをさせていただいて、
県の方に指導をもらって町が建ててというような、今まで千箇所できまして、
3,500億円ぐらいの売上をしているというんですが、その仲間に入れてもら
うのでは大変だと思いますが、やはり大型の郊外スーパーとかそういうものが
来ない地域にできて成功している率が高いのが、この道の駅です。そういう
面では伊勢市と少し引つつきすぎかという気もしますが、何もないことにな
るとゼロからの出発ですので、国の交付金の手続きとか入り方、やはり県の
窓口が大事だということも言っていたいただきましたので、その辺を県の皆さん
方のお知恵も借りたいと考えております。

今回の場合は一言で、ご支援、ご協力というよりも助けてくださいと言
おうと思ってました。ですから、度会町を助けてくださいという意味で、とに
かくすべてこの道の駅ができた中では、先ほど言いましたように1つ2つ3
つの課題が解決をしていくきっかけになるのではないかと考えています。

それで、広域という言葉も中身のある一つの事業につながったらいいかと
思っていますので、税金の無駄遣いしないように頑張りたいと思いますので、
どうか今後ともご指導をよろしくお願いをしたいと思います。

2 現行の防災行政無線（アナログ方式）の拡充に対する助成について

度会町長

これが知事とのせつかくの対談でいくつかということをお県から言っていた
きまして、本音でございまして、度会町は、知事さんをはじめ、いろいろ農

林関係がすべて出先からも中央へもお頼みをして、結構言うことを聞いていただいでやってるということで、大きな目玉が自分とこの財源が小さくてないので、その中で地味ですが、知事によく言われる防災に力を入れていると、南部活性化の中でも。

そんな中で、国が制度でデジタル化を全域にやるというお示しをしていただいでおりますが、具体的にデジタル化を何年度からやるというパイが見えてないというのも県の方にもお聞きしました。今の状態で私のところの防災行政無線が、非常に山が多いことが支障となり電波がだめで困っているところが出てまいりまして、昨年、独自に音質の調査をしまして、その中で全く聞こえないところだけはまずやろうと。

災害でも南伊勢町さんや大紀町さんのように伊勢平野のリアス式の海岸ではございませんので、玉城町さんと一緒のように直下型とかいうことの心配ということで、防災意識は非常に低いのが実情です。

そんな中で、住民の方々がよそがあるからということで、伊勢もやったやないか、どこもやったやないかということで言うておりますので、やらなきゃいけないということですが、いろんなジャンルがありますので、財政の中で現在の状態としましては、昨今、アナログ化の中で将来デジタル化になっても使えるという形の方式で一部手直し改修をして、皆さんに分かりやすく聞いていただけるようにせないかんと、安全・安心を守らなければいけないということで、ここの2番目のジャンルのところに書いてございます。

注連指という地区がありますが、ここの地区は、電波状態が非常に悪く、4月にはガーガーという雑音が入り聞こえなかったということで、区長さんをお願いをして、通信をいったん中断し、ここを町単でやろうということで通信局へ言いましたが、国の判断を仰いでもらわないと認可は下りにくいということで、この間、国へも相談をしまして、これを知事さんに出させてもらったときは、まだこれからという段階でお願いしたいと思ってましたが、短期決戦でなんとか認可をいただきましたので、非常に経費も少なくやれるということで、ここの課題は解決しました。

ただ、全体のデータを見ているんですが、防災行政無線のデジタル化の推進が、東海地区から三重県のも見せていただくのですが、完全に整備が終わったのはたくさん市の市町ではない。中山間地域では子局の増設や、新しく局塔を建てる必要があり、うちの概算では4億円以上かかる。これについては、今の制度に踏み切った場合は、防災の中でも防災の減災事業債が使えるようになりましたが、これ勉強させてもらいましたが、100%ですが、交付税措置にはならんということなので、これをやると、まだまだうちもほかのことがあるので、欲ですが、うちと同じようなところがまだまだ三重県、あるいは

東海地区もありますので、また知事のほうから、できたらこういう中山間地域について、国の制度がしっかりと明らかになった場合に備えて、今から要望を出させていただくと思いますが、お仲間の人らと一緒に少しでも財政支援を、特にもうちょっと有利な交付税措置なんかでもお願いできないかと思っております。

これから安全・安心をキャッチフレーズにそういう防災の関係で生活をしていただくには、今後やらなきゃいけない必要条件かと思っておりますが、災害に比較的強い町ですので、まだそこまで住民の方々がご不満を言われるのが少ないですが、ふれあいトークでは随分言われておりますので、できたらこれを来年度から、国の動向も見て知事さんをお願いをして、こういった支援を町村会にも上げていきたいと思っております。今日は知事との対談の中で2番目に取上をさせていただきました。これ国の交付税とか、そういうのが県のほうで分かっているならば、知事さんにまたご指導をいただきたいと思って提言をさせていただきました。

知 事

防災行政無線、できる限り早期にデジタル方式に移行してくださいというのが国の方針で、アナログ方式で情報を発信する親局の新しいアナログの整備はだめということになっているんですが。

住民の皆さんに直接される子局の増設という、アナログ方式であっても子局の増設はいいということと、対象に申請になれば免許が付与されることを東海総合通信局から聞いていますので、それは大丈夫のようであります。

あと、さっき町長もおっしゃってましたが、防災対策事業債ではアナログ方式の整備、子局の設置も対象になっている状況です。この防災対策事業債よりも有利な仕組みがないかということですが、我々は今まで、それを発見しきれてないので、今、少し県全体の町とか中山間地における防災行政無線の状況とか、あるいは、これからさらに例えば老朽化していて更新せないかんものとか、そういうものがもう少し全体的に実態を把握したうえで、それに対する財源ということで、国のほうにお願いをしていかなければいけないと思っておりますので、町長がおっしゃっていただいた趣旨は理解をしました。

むしろ町村会さんとも少し連携をさせていただいて、実態の把握をさせていただいたうえで、その状況がまた他県とかとも少し比べても厳しいようであれば、特に国に対して今の防災対策事業債はそれはそれでありがたいけれども、また違う中山間地域とかいくつかの条件の厳しいところについては、こうしてくださいというような国へのお願いとか、そういうのも視野に入れて、まず、実態調べを町村会と連携してやらせていただければと思っていま

すので、よろしく申し上げます。

度会町長

国の動向としてはどうでしょう。私個人の思いですが、デジタル化にするのは非常にいいし、消防の場合はいろいろ揉めましたが、28年の5月までにまず消防のほうをやろうということになったので、これは解決すると思うんですが。

今回、我々が一番心配するのは、我々のような中山間地のところが1,700ある中で、どれぐらいあるかということと、そういう声が束になってどれぐらいまで国に届くかということのも、やはり県の力を借りないとできないと思います。

制度化が今見えてこないような状態で、知事も言われましたが、なるべくそういうふうに移行してくださいと。子局は暫定でとらえておって、防災・減災に引っかけてもらうのは分かるんですが、やはり東日本大震災のこともあるし、まだまだあちらが予算的なものもやってみえないので、うちらが百を要求するのはどうかと思いますが、公平さという意味になると、おまえとここはこういう地形の条件だから、おまえらが自分を守らなと言われればそれまでなので、そういう面では声を大にして束に行きたいということになると、ケーブルを太くしていくには、知事のお声が一番重要になってくるという気がありますので、若さの瞬発で国へ届けていただきたいと思います。その窓口がすぐに迫ったときに提言しては遅いと思いましたので、こういう機会に言わせていただいて、これからももちろん町村会で提案させていただきまして、県に上げさせてもらってお互いの共同歩調を取りたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

知事

ありがとうございます。おっしゃるとおり市町村の防災行政無線は、いつまでにデジタル化していくかは国では決まっていなくて、先ほど消防無線のデジタル化が平成28年5月31日になっているんですが、国のもどこまで踏み込んでいいかというのがあるかというのは我々も感じているところです。

今、既にある防災対策事業債でも対応できるにもかかわらず、更にそれを中身をかき上げていったり補助率を高めていったりするには、やはり一定の、今、町長もおっしゃったように、ケーブルのパイプを太く束にする必要がありますので、県でももちろん実体の把握に努めたいと思いますが、町村会と連携して、あと、他県の状況などもよく調べるようにしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

度会町長

積極的によろしくお願いします。

(3) 閉会あいさつ

知 事

どうも今日は中村町長、そして度会町の皆さん、そして、傍聴に来ていただいている皆さんもありがとうございました。

本当に限られた時間で、あっという間でありましたが、道の駅の構想、これから調整とか手続きとか、乗り越えていかなければならないハードルはたくさんありますが、でも、一つの夢というか目標に向かってみんなで行こまいかとやっていたているのは、私もうれしく思いましたし、こういう閉塞感のある時代だからこそ、どんどん人口も減って行ってなかなかきつといて諦めるのではなく、そういう新しいチャレンジをしていくことに私も非常に期待感を持ちましたし、夢を感じさせていただきました。我々もできることをしっかりやっていきたいと思しますので、共に頑張りましょう。

今日はありがとうございました。